

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成25年12月26日(2013.12.26)

【公開番号】特開2012-51819(P2012-51819A)

【公開日】平成24年3月15日(2012.3.15)

【年通号数】公開・登録公報2012-011

【出願番号】特願2010-193859(P2010-193859)

【国際特許分類】

C 07 C 51/60 (2006.01)

C 07 C 57/76 (2006.01)

【F I】

C 07 C 51/60

C 07 C 57/76

【手続補正書】

【提出日】平成25年11月13日(2013.11.13)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

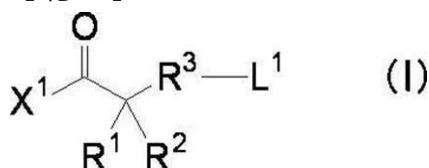
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

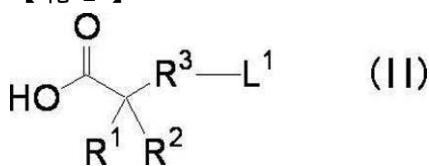
下記一般式(I)で表される化合物を、塩基性化合物、および下記一般式(IV)で表される化合物と反応させることにより、下記一般式(II)で表される化合物を得る工程と、下記一般式(III)で表される化合物を、酸ハロゲン化剤と反応させることにより、下記一般式(I)で表される化合物を得る工程と、を含む酸ハロゲン化物の製造方法。

【化1】



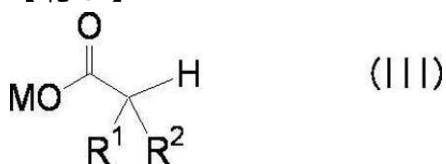
一般式(I)中、R<sup>1</sup>及びR<sup>2</sup>は、それぞれ独立に、アルキル基、アリール基、アルケニル基、アルキニル基、及びヘテロ環基からなる群から選ばれた基を表す。R<sup>3</sup>はアルキレン基を表す。X<sup>1</sup>はハロゲン原子を表す。L<sup>1</sup>は脱離基を表す。

【化2】



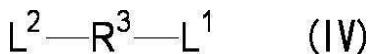
一般式(II)中、R<sup>1</sup>、R<sup>2</sup>、R<sup>3</sup>、及びL<sup>1</sup>は、前記一般式(I)におけるR<sup>1</sup>、R<sup>2</sup>、R<sup>3</sup>、及びL<sup>1</sup>とそれぞれ同義である。

## 【化3】



一般式(III)中、R<sup>1</sup>及びR<sup>2</sup>は前記一般式(I)におけるR<sup>1</sup>及びR<sup>2</sup>とそれぞれ同義である。Mは水素原子、または金属原子を表す。

## 【化4】



一般式(IV)中、R<sup>3</sup>及びL<sup>1</sup>は前記一般式(I)におけるR<sup>3</sup>及びL<sup>1</sup>とそれぞれ同義である。L<sup>2</sup>は脱離基を表す。

## 【請求項2】

前記一般式(III)で表される化合物を、前記塩基性化合物、および前記一般式(IV)で表される化合物と反応させることにより前記一般式(II)で表される化合物を得る工程が、前記一般式(III)で表される化合物を、前記塩基性化合物と反応させて下記一般式(III-2)で表されるエノラートを中間体とする工程、および得られた該一般式(III-2)で表されるエノラートを前記一般式(IV)で表される化合物と反応させる工程を含む請求項1に記載の酸ハロゲン化物の製造方法。

## 【化5】



一般式(III-2)中、R<sup>1</sup>、R<sup>2</sup>、及びMは、前記一般式(III)におけるR<sup>1</sup>、R<sup>2</sup>、及びMとそれぞれ同義である。

## 【請求項3】

前記一般式(III)で表される化合物を、前記塩基性化合物と反応させて下記一般式(III-2)で表されるエノラートを中間体とする工程における温度が、-30～70の範囲である請求項1または請求項2に記載の酸ハロゲン化物の製造方法。

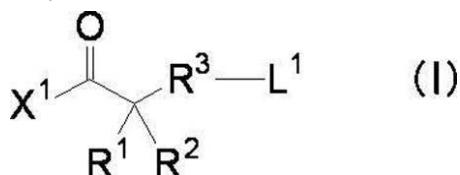
## 【請求項4】

前記一般式(III-2)で表されるエノラートを前記一般式(IV)で表される化合物と反応させる工程における温度が、-70～20である請求項1～請求項3のいずれか1項に記載の酸ハロゲン化物の製造方法。

## 【請求項5】

請求項1～請求項4のいずれか1項に記載の製造方法により得られた下記一般式(I)で表される化合物。

## 【化6】

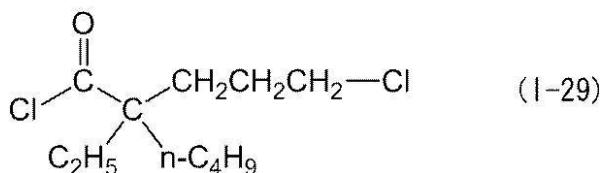
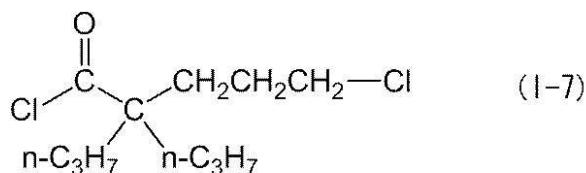
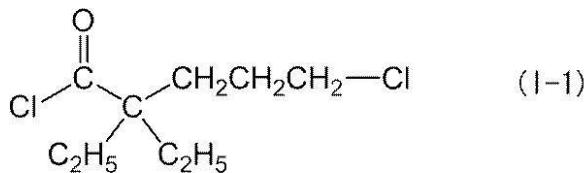


一般式(I)中、R<sup>1</sup>及びR<sup>2</sup>は、それぞれ独立に、アルキル基、アリール基、アルケニル基、アルキニル基、及びヘテロ環基からなる群から選ばれた基を表す。R<sup>3</sup>はアルキレン基を表す。X<sup>1</sup>はハロゲン原子を表す。L<sup>1</sup>は脱離基を表す。

## 【請求項 6】

下記化合物（I-1）、化合物（I-7）、及び化合物（I-29）から選ばれた1種の化合物。

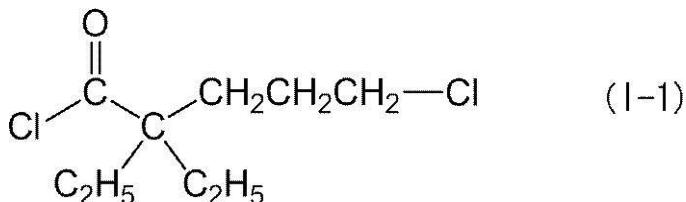
## 【化7】



## 【請求項 7】

下記化合物（I-1）。

## 【化8】



## 【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0025

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0025】

一般式（I）中、R<sup>1</sup>及びR<sup>2</sup>は、それぞれ独立に、アルキル基、アリール基、アルケニル基、アルキニル基、及びヘテロ環基からなる群から選ばれた基を表す。R<sup>3</sup>はアルキレン基を表す。X<sup>1</sup>はハロゲン原子を表す。L<sup>1</sup>は脱離基を表す。

<6> 後述の化合物（I-1）、化合物（I-7）、及び化合物（I-29）から選ばれた1種の化合物。

<7> 後述の化合物（I-1）。